

〔成果情報名〕 奈良県中山間地域におけるイチゴの収量性

〔要約〕 奈良県の中山間地域において、促成イチゴ高設栽培で 5,000kg/10a を超える収量が期待できる。収量は「かおり野」が最も多く、「奈乃華」が少ない。

〔キーワード〕 品種比較、収穫期間

〔担当〕 大和高原農業研究所

〔分類〕 普及・行政・教育の参考となる技術情報

〔背景・目的〕

イチゴは収益性が高く、奈良県において新規の取り組みが多い品目の一つである。すべての営利栽培が施設を利用した促成作型で行われており、主産地は県平坦部に位置する。近年、平坦部では夏秋期の高温による花芽分化の遅延が問題となっている。そのため、冷涼な中山間地である大和高原地域において、イチゴ栽培への期待や取組要望が高まりつつある。そこで、大和高原地域におけるイチゴの促成栽培を検討するために、奈良県の主要品種を対象に果実収量を調査する。

〔成果の内容・特徴〕

1. 収穫開始は供試 7 品種の中で「かおり野」が最も早い 11 月 13 日～27 日、「ゆめのか」が最も遅く 12 月 19 日～1 月 22 日である（表 1、表 2、表 3）。収穫は 6 月下旬から 7 月上旬まで可能である。1 株あたりの収穫果重は「かおり野」が最も大きく、「古都華」、「奈乃華」および「ならあかり」が小さい。
2. 「かおり野」は年によらず安定して収量が多く（収穫果重の 3 カ年平均：1,042g/株）、「奈乃華」は少ない（同：753g/株）。
3. 「アスカルビー」、「古都華」、「珠姫」、「ならあかり」および「かおり野」については 3 カ年全てで収穫果重が 715g/株を超えており、定植株数を 7000 株/10a とすると、5,000kg/10a を超える収量が期待できる。
4. 11 月～3 月まで 1a のパイプハウスで暖房機の設定を 8℃とした場合の灯油使用量は約 451L。

〔成果の活用面・留意点〕

1. 宇陀市榛原（標高 350m）における高設栽培での事例（2022～2025 年）である。
2. 耕種概要は以下のとおりである。
施設：奈良方式高設栽培装置ピートベンチ（パイプハウス、1a）
定植：2022 年は「古都華」、「奈乃華」、「ならあかり」および「珠姫」は 9 月 13 日、「かおり野」は 9 月 14 日、「アスカルビー」と「ゆめのか」は 9 月 20 日。2023 年は全品種 9 月 13 日。2024 年は全品種 9 月 23 日。
内張：2022 年は 10 月 31 日、2023 年と 2024 年は 11 月 7 日から夜間は内張を展張。
暖房：加温機の設定は 8℃。加温開始・終了はそれぞれ 2022 年は 11 月 25 日・翌年 3 月 29 日、2023 年は 11 月 10 日・翌年 4 月 9 日、2024 年は 11 月 7 日・翌年 4 月 3 日。
換気：25℃以上で換気扇が稼働するように設定。
3. 暖房機の温度を 5℃とした場合、収穫開始が 8℃と比較して 1 ヶ月遅くなる場合がある。
4. 本試験の結果は収量性の評価である。品種の選択時は収量だけでなく品種毎の販売価格や販路を考慮する。

[具体的データ]

表1 奈良県中山間地（標高350m）におけるイチゴの果実収量（2024～25年）													
品種	収穫開始日	収穫果重（g/株）									収穫果数 （果/株）	平均果重 （g/果）	正常果率 ² （％）
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計		
アスカルビー	12月12日	- ¹	30	109	107	223	196	108	119	-	891 b ³	57 a ³	72.3 a ³
古都華	12月19日	-	10	107	112	234	159	58	67	-	747 cd	41 c	76.4 a
珠姫	12月16日	-	17	159	89	195	254	96	62	-	871 bc	37 c	79.2 a
奈乃華	12月19日	-	12	132	107	188	164	51	69	-	721 d	42 bc	78.7 a
ならあかり	11月28日	1	56	106	122	205	134	75	58	-	756 bcd	49 ab	83.6 a
かおり野	11月13日	11	83	124	252	280	156	87	44	-	1037 a	56 a	82.0 a
ゆめのか	12月27日	-	13	186	153	201	169	135	82	-	940 b	54 a	70.6 a

¹重量比
²収穫がなかったことを示す
³Tukeyの多重検定により、同一カラムの異なる英小文字間は5%水準で有意差が認められることを示す（n=3）。
なお、正常果率は角変換後の数値を検定に用いた。

表2 奈良県中山間地（標高350m）におけるイチゴの果実収量（2023～24年）													
品種	収穫開始日	収穫果重（g/株）									収穫果数 （果/株）	平均果重 （g/果）	正常果率 ² （％）
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計		
アスカルビー	1月15日	- ¹	-	90	118	122	169	126	134	18	777 abc ³	48 ab ³	92.7 a ³
古都華	12月15日	-	31	118	127	157	109	103	114	7	767 abc	39 bc	93.7 a
珠姫	12月18日	-	5	43	153	209	200	93	78	5	786 ab	34 c	91.3 a
奈乃華	12月15日	-	35	71	149	148	90	80	60	1	633 c	36 c	78.4 ab
ならあかり	12月 6日	-	100	84	99	120	110	100	98	6	718 bc	47 ab	94.0 a
かおり野	11月27日	14	147	118	113	156	160	91	68	4	871 a	53 a	88.2 ab
ゆめのか	1月22日	-	-	45	204	157	85	88	119	13	711 bc	44 abc	71.3 b

¹重量比
²収穫がなかったことを示す
³Tukeyの多重検定により、同一カラムの異なる英小文字間は5%水準で有意差が認められることを示す（n=3）。
なお、正常果率は角変換後の数値を検定に用いた。

表3 奈良県中山間地（標高350m）におけるイチゴの果実収量（2022～23年）													
品種	収穫開始日	収穫果重（g/株）									収穫果数 （果/株）	平均果重 （g/果）	正常果率 ² （％）
		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計		
アスカルビー	12月16日	- ¹	29	137	151	289	149	184	131	37	1107 ab ³	67 a ³	91.5 ab ³
古都華	12月16日	-	44	111	134	254	84	111	55	11	804 c	42 b	94.6 ab
珠姫	12月12日	-	45	177	119	362	196	158	40	-	1098 ab	44 b	95.8 a
奈乃華	12月 5日	-	131	136	128	178	119	140	68	7	906 bc	45 b	92.1 ab
ならあかり	11月25日	7	132	96	160	245	102	131	103	20	996 abc	60 a	95.8 a
かおり野	11月18日	29	169	161	207	346	137	125	39	4	1219 a	65 a	92.4 ab
ゆめのか	12月19日	-	46	197	166	178	172	182	106	6	1052 ab	63 a	89.2 b

¹重量比
²収穫がなかったことを示す
³Tukeyの多重検定により、同一カラムの異なる英小文字間は5%水準で有意差が認められることを示す（n=3）。
なお、正常果率は角変換後の数値を検定に用いた。

[その他]

研究課題名：奈良県中山間地域におけるイチゴの収量性
予算区分・研究期間：シーズ創出型研究開発事業・2022年～2025年度
研究担当者：峯圭司、浅尾浩史、辰巳嘉人、上田悠平、森岡正、厚見治之
発表誌等：なし